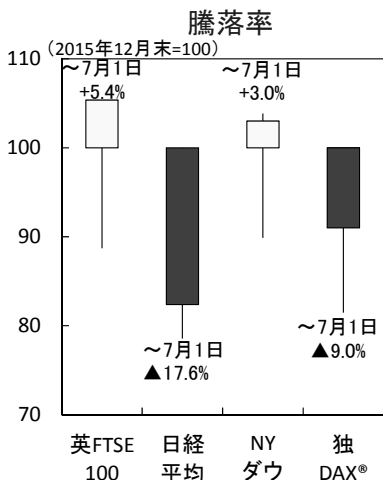


Focus

# 英BREXIT 3: 「第2の国民投票」となる可能性もある英保守党党首選

【図1】英が好パフォーマンス

日米欧英 主要株価指数 (年初~7月1日)



注) ローソク足は、白抜き四角は上辺が7月1日終値指数、下辺が2015年12月末終値指数(黒抜き四角は逆)。出所) Bloombergより当社経済調査部作成

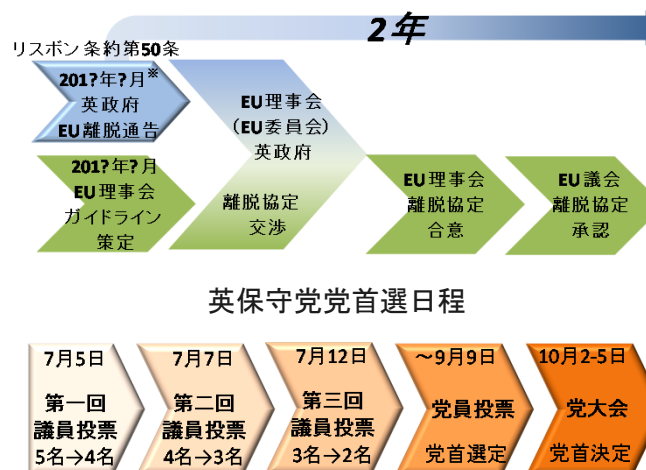
【図2】英与保守党の党首選は第2の国民投票の様相

英保守党党首選立候補者



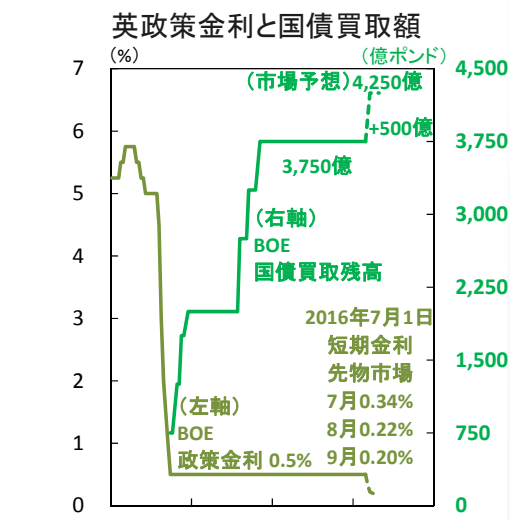
注) イラストと各候補者人物の関連はない。出所) 英保守党HPより当社経済調査部作成

リスボン条約第50条発効後の英EU離脱日程



出所) 各種報道より当社経済調査部作成

【図3】英追加金融緩和予想



注) 市場予想はBloombergによる。短期金利先物市場はBOE金融政策委員会応答日に対応する金利。出所) Bloombergより当社経済調査部作成

先週の欧州金融市場は大幅反発、6月28日を機に英国、ユーロ圏主要国株式市場は上昇に転じました。英主要株価指数は年初来でも日米ユーロ圏主要株式指数を抑えトップパーフォーマーでした(図1)。一方英ポンドは大幅下落、週間ベースで対ドルでは3.0%、対円でも2.7%の下落、英金融政策の追加緩和観測が嫌気されました。

先週は市場参加者にとっても、英国民にとってもまさか!と思わせる一週間だったでしょう。英国民投票で強かにEU(欧州連合)離脱を推進したボリス・ジョンソン氏が保守党党首選の立候補見送りを決めたためです。立候補会見の場での不出馬表明でしたので、会見会場は驚きに包まれました。背景は色々いわれますが、後ろ盾となっていた保守党ナンバー2、マイケル・コープ司法相との衝突とされています。EU離脱手続きに関しやや慎重なジョンソン氏の姿勢に疑念を持ったためです。いずれにせよ、保守党党首選は、このマイケル・コープ司法相、テリーザ・メイ内務相他3名(いずれも閣僚・元閣僚)の計5名の争いになりました(図2左)。

英保守党党首選は市場参加者の注目を集めるとみられています。事実上、「第2の国民投票」となる可能性もあるためです。党首選はメイ内務相、コープ司法相の一騎打ちとみられますが、両者はそれぞれEU残留、EU離脱派の実力者です。どちらが勝利を得るかでEU離脱のカウントダウン開始となるリスボン条約第50条の発効時期、ひいてはEU離脱議論自体にも変化が生じる恐れすらあります(図2上)。今週5日と7日、来週12日の議員投票を経て党首候補が2名に絞られる(図2下)党首選の行方は、特に英ポンドの変動率(ボラティリティ)を高めましょう。

一方、先週は金融政策にも動きがありました。BOE(英国中央銀行)カーニー総裁は6月30日、「BOEはおそらく夏にかけて金融政策を緩和しなければならない」と、事実上の追加金融緩和を予告しました。これを受け英短期金利先物市場は、7月14日のBOE金融政策委員会での0.25%利下げ(現行0.5%)を約6割程度織り込みました(図3)。また、量的金融緩和拡大もあるとみられています。(徳岡)

※当レポートは投資環境ウィークリー7月4日号の一部抜粋です。

## 留意事項

### ◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。したがって、**投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。**

投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

### ◎投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

■購入時（ファンドによっては換金時）に直接ご負担いただく費用

・購入時（換金時）手数料... **上限3.24%（税込）**

※一部のファンドについては、購入時（換金時）手数料額（**上限37,800円（税込）**）を定めているものがあります。

■購入時・換金時に直接ご負担いただく費用

・信託財産留保額... ファンドにより変動するものがあるため、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

・運用管理費用（信託報酬）... **上限年3.348%（税込）**

※一部のファンドについては、運用実績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

■その他の費用・手数料

上記以外に保有期間等に際してご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等でご確認ください。

※その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

お客さまにご負担いただく費用の合計額もしくはその上限額またはこれらの計算方法は、購入金額や保有期間等に依り異なりますので、表示することができません。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三菱UFJ国際投信が運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。

## 各資産のリスク

### ◎株式の投資に係る価格変動リスク

株式への投資には価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、株式の価格の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

### ◎公社債の投資に係る価格変動リスク

公社債への投資には価格変動リスクを伴います。一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、公社債の価格の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

### ◎信用リスク

信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。この場合、有価証券等の価格の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

### ◎流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。この場合、有価証券等の価格の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

国内株式・国内債券への投資は上記のリスクを伴います。海外株式・海外債券への投資は上記リスクに加えて以下の為替変動リスクを伴います。

### ◎為替変動リスク

海外の株式や公社債、REIT、オルタナティブ資産は外貨建資産ですので、為替変動の影響を受けます。そのため、為替相場が円高方向に進んだ場合には、投資元金を割り込むことがあります。

新興国への投資は上記リスクに加えて以下のカントリーリスクを伴います。

### ◎カントリーリスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。この場合、有価証券等の価格の下落により損失を被り、投資元金を割り込む可能性が高まる場合があります。

## 本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況であり、また、見通ししないし分析は作成時点での見解を示したものです。したがって、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等は考慮していません。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信経済調査部の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

■投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。

■クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会